

介護人材確保の取組みについて

1 介護人材の現状

(1) 介護職員不足の見込み

介護職員は年々増えているものの、本市が令和4年（2022年）12月に実施した「介護保険事業者向けアンケート調査」によると、回答のあった市内介護サービス事業者のうち、約7割が理想とする従業員数よりも少ない人数で事業を行っていると回答しています。今後、要介護認定者が大幅に増加することが見込まれており、本市では令和7（2025）年に約1,100人の介護職員不足が見込まれています（表1参照）。

表1 需給推計（本市）

	需要見込 (A)	供給見込 (B)	不足人数 (A)－(B)
令和7（2025）年	16,701人	15,538人	1,163人
令和22（2040）年	19,343人	14,374人	4,969人

（厚労省「第8期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数」より推計）

(2) 有効求人倍率

介護分野は全産業に比べて高い状態です（表2参照）。

公益財団法人介護労働安定センター「介護労働実態調査（令和4年度）」の結果によると、「仕事内容のわりに賃金が低い」、「身体的負担が大きい」、「健康面（新型コロナウイルス等の感染症、怪我）の不安がある」、「業務に対する社会的評価が低い」等の悩みを抱えており、職業選択においても、これらのイメージが理由で敬遠されていると考えられます。

表2 有効求人倍率

		H30	R1	R2	R3	R4
全国	全産業	1.45	1.45	1.08	1.03	1.16
	介護分野	3.90	4.20	3.99	3.64	3.71
千葉県	全産業	1.33	1.29	0.90	0.86	1.00
	介護分野	5.21	5.12	4.77	3.87	3.87

（厚労省「職業安定業務統計」）

（千葉公共職業安定所「有効求人倍率の推移」）

(3) 採用率・離職率

介護職員の採用率は、全産業平均よりやや高く、離職率はやや低い状況です。また、千葉県傾向としては、全国平均より採用率がやや高く、離職率は同程度となっています。(表3参照)。

公益財団法人介護労働安定センター「介護労働実態調査(令和4年度)」によると、介護関係の仕事を辞めた理由として、「職場の人間関係」が27.5%と最も高く、次いで「法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため」等が挙げられています。

表3 介護職員の採用率・離職率

(%)

		採用率	離職率	離職者の勤続年数		
				1年未満	1~3年未満	3年以上
介護職員	全国	16.0	14.3	34.4	25.5	40.2
	千葉県	17.1	14.1	41.2	24.8	34.0
全産業(全国)		15.2	15.0	—	—	—

(厚労省「R4 介護労働実態調査」「R4 雇用動向調査」)

(4) 給与

国の「処遇改善加算の実施」により給与面での改善は進んでおり、令和元(2019)年10月には「特定処遇改善加算」が創設され、経験・技能のある介護職員に対する処遇改善が実施されています。また、令和4年2月から収入を3%程度(月額9,000円)引き上げるための措置が実施されており、さらに、令和6年2月から5月までの間、収入を2%程度(月額6,000円)引き上げるための措置として、「介護職員処遇改善支援補助金」の交付が行われています。加えて、令和6年6月以降は、介護報酬改定により、同補助金額を上回る加算率の上乗せを行うこととされています。

(5) 本市取組みの方向性

現在も、市内には新たな介護サービス事業所が開設されており、介護職員等の人数は増加しているものの、人材不足は依然として解消されていません。また、介護職員の悩みとして挙げられている「身体的負担が大きい」ことや、離職した介護職員が理由として挙げている「職場の人間関係」等も、人材確保が困難となっている一因と考えられます。これらを踏まえ、本市の介護事業所全体の魅力の向上に取り組むとともに、介護職員の負担軽減と定着促進、資質の向上などの介護事業所や介護職員への支援を拡充し、本市に質の高い介護人材がより一層集まるような取組みを「千葉県介護人材対策総合パッケージ」として次のとおり実施していきます。

2 本市の人材確保対策の取組み

(1) 魅力ある介護事業所の育成支援

誰もが働きやすく、継続して就労できる介護事業所となるよう支援するため、令和6年度より、処遇改善加算等取得支援を実施します。また、新たに、主任介護支援専門員の受講費用の一部を助成します。

- ① 処遇改善加算等取得支援（新規） 【令和6年度 1,595千円】
介護サービス事業所で働く職員の待遇向上の一手段である「処遇改善加算」等を未取得の事業所が一定数あることから、取得支援のためのアドバイザーを派遣し、事業所を支援
(令和6年度予定)
派遣回数 36事業所×2回
- ② 主任介護支援専門員研修受講者支援事業（新規） 【令和6年度 509千円】
介護人材の確保及び介護サービスの質の向上のため、主任介護支援専門員の研修受講費用の一部を助成（補助額 一律 2.5万円）
(令和6年度予定)
助成人数 20名

(2) 介護職員・事業所への支援（負担軽減、研修、離職防止、定着促進）

令和6年度より、研修受講者支援事業の補助率及び上限額を拡充します。また、介護現場における職員の負担軽減のため、引き続き、介護ロボットの活用を促進する事業を実施します。そのほか、介護分野での継続的な就業を支援するため、概ね3年以上の介護経験のある職員を対象としたキャリアアップに資する研修を開催します。

- ① 介護職員研修受講者支援事業（拡充：平成24年度～） 【令和6年度 24,553千円】
介護職員初任者研修または介護福祉士実務者研修を修了し、介護施設等に就労している者に対し、受講費用を助成（令和6年度より補助率・上限額を拡充）
(令和6年度予定)
補助率 10/10 (令和5年度： 1/2)
上限額 初任者 10万円 (令和5年度： 5万円)
実務者 15万円 (令和5年度： 10万円)
助成人数 190人(初任者80人 実務者110人)
(令和5年度実績)
助成人数 153人(初任者67人 実務者86人)
- ② 介護ロボットフェア（継続：平成30年度～） 【令和6年度 841千円】
介護ロボットの有用性や活用事例の紹介、介護ロボットメーカーによる機器の展示・デモンストラーションを実施

(令和5年度実績)

開催日 令和5年11月15日
会場 オークラ千葉ホテル
内容 展示(ロボット・ICT機器) 24法人
講演(介護ロボット導入施設等)
参加者数 約90人
主な参加者意見 最新のロボットが展示されており、活用方法等を理解することができた。
出展社数を増やしてほしい
→ より多くの法人が出展できるよう引き続き検討します。

③ 大規模修繕時介護ロボット・ICT導入支援(継続:令和3年度~)

【令和6年度8,244千円】

介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICT導入にかかる費用を助成

対象施設	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者GH等
対象経費	対象施設の大規模修繕時に導入する介護ロボット・ICT導入費用等 (大規模修繕の費用は補助対象外)
補助額	458千円×定員数(上限額)
備考	令和6年度実施予定者は1者、国・県での予算措置がされなかった場合は市費での実施を検討

④ 介護事業者・介護ロボット開発事業者連携(継続:令和5年度~)【令和6年度338千円】

介護ロボットのさらなる活用に向けて、有識者による講演や導入事例の共有、参加者同士の意見交換を行うワークショップを実施

(令和5年度実績)

開催日 令和6年2月19日
会場 千葉市生涯学習センター
内容 有識者講演、導入事例紹介、ワークショップ(意見交換)
参加者数 17人

⑤ 中堅職員向けキャリアアップ研修(継続:令和5年度~) 【令和6年度900千円】

概ね3年以上の介護経験のある職員を対象に、今後のキャリアアップ等を目的とした研修兼交流会を開催し、中堅職員の役割について理解を促すとともに、他の事業所職員とのネットワークづくりを支援

(令和5年度実績)

開催日 令和6年1月26日、29日
会場 千葉市民会館
内容 キャリアアップに資する研修
参加者数 計30人

(3) 多様な人材確保

将来的な介護人材の確保を目的に、市内の中学生を対象としたパンフレット配布事業を新たに実施します。また、介護分野へ新たに就労する人材を増やすため、引き続き、合同就職説明会及び入門的研修を開催します。そのほか、受入施設の負担軽減及び外国人職員同士の交流を目的とした、日本語教室を実施します。

- ① 介護の魅力向上（新規） 【令和6年度 1,705千円】
介護の仕事に対する関心を持つきっかけを提供するため、介護職の仕事内容や魅力を伝えるパンフレットを作成・配布
(令和6年度予定)
対 象 市内中学1年生
作成部数 約9,000部

- ② 介護人材合同就職説明会（継続：平成27年度～） 【令和6年度 1,281千円】
市内介護事業所と介護施設へ就職を希望する求職者のマッチングを実施
(令和5年度実績)
開催日 令和6年3月3日
会 場 ペリエホール
出展法人数 28法人
参加者数 53人

- ③ 介護に関する入門的研修（継続：令和3年度～） 【令和6年度 1,897千円】
介護未経験者が介護分野へ参入するきっかけを作るとともに、介護の業務に携わる上での不安を払拭するため、介護未経験者を対象に研修を実施
(令和5年度実績)
実施内容 基礎講座（3時間）及び入門講座（18時間） 計21時間
受講人数 48人（12月～1月開催分、2月～3月開催分の合計）

- ④ 外国人介護職員向けの日本語教室（継続：令和2年度～） 【令和6年度 1,595千円】
外国人介護職員の日本語力向上に伴う提供サービスの質の向上及び施設の負担軽減を図り、また、外国人職員同士の交流の場とするため日本語教室を実施
(令和5年度実績)
開催日 令和5年10月から令和6年2月（計12回）
会 場 千葉市新宿公民館 ※委託先にて会場を確保
内 容 日本で働くうえでのマナー、利用者とのコミュニケーション、介護の仕事で必要となる日本語について、午前と午後の2クラス開講
参加者数 15人（※ 開講時の人数）

【参考】 国・千葉県の人材確保対策

国及び千葉県の主な取り組みは以下のとおりです。

表5 国及び千葉県の主な取り組み（●国 ○千葉県）

項目	内容
離職防止 定着促進 生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 ○ 介護ロボット導入支援事業 （【補助率】対象経費の1/2 【限度額】「移乗介護」及び「入浴支援」ロボット100万円、それ以外のロボット30万円） ○ 介護記録等のICT導入支援 （【補助率】対象経費の1/2 【限度額】職員数に応じて100万円から260万円）
多様な人材の 確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護福祉士を目指す学生への修学資金貸与 ※ 5年勤務で返済免除 ○ 潜在介護福祉士に対する再就職準備金貸付 ※ 2年勤務で返済免除 ○ 介護未経験者に対する入門的研修 ○ 50歳以上の方を対象とした「介護職員初任者研修」 ○ 合同就職説明会「福祉のしごと就職フェア」 ○ 就職活動の相談、紹介・あっせん
外国人材の 受入れ環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護の日本語学習支援（WEBコンテンツ） ○ 介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給に係る支援事業（千葉県留学生受入プログラム） <ul style="list-style-type: none"> ①マッチング支援 ②学費及び居住費支援 （基準額）日本語学校 5万円/月（1年間） 日本語学校及び養成施設在籍中の居住費 3万円/月（3年間） （補助率）1/2 ○ 千葉県外国人介護人材支援センターの設置 ○ 外国人技能実習生への日本語学習支援
介護職員の 処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 処遇改善加算（H21～ 月額7.5万円相当の改善） ● 特定処遇改善加算（月額最大 8万円） ● 介護職員等ベースアップ等支援加算（月額9千円相当） ● 介護職員処遇改善支援補助金（月額6千円相当）
介護職の 魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の生徒等に対する介護の仕事の理解促進や出前講座の実施 ○ 福祉の職場体験